

造形美術教室

-いのちの輝きを造形に-



ペイントした作品



昨年度の制作の様子から

◎期日:8月9日(金)～

12日(月祝)の連続4日間

◎会場:古川郷土民芸会館工房

飛騨市美術館多目的室

飛騨市古川町若宮2-1-58

◎定員:20名程度

※中高生から一般を対象

(定数を超えた場合は抽選)

◎参加費:3,000円

◎時間:10時～16時半頃

(昼食はご持参ください)

(外食も自由です)

★講師: 中垣 克久 先生(現代造形表現作家フォーラム代表・飛騨市美術館名誉館長)
宮江 里実 先生(現代造形表現作家フォーラム会員)

趣 旨: 対象を見て感動したことや心の中に芽生えたイメージなどを造形し、新しくものを生み出す楽しみを味わってみませんか? 現代は、平面・立体といったジャンルの枠を越えた表現が求められており、本教室もこうした現代性に即した内容で「造形の基礎と楽しさ」を学びます。初心者から経験者にいたるまで、個々のいのちの輝きが表現できるよう、講師がきめ細かく丁寧に指導します。この教室をきっかけにアートに触れ、アートを味わう有意義な時間を過ごしてみませんか? また、本教室は秋に開催予定の「飛騨市美術展」出展を目指す若年層の芸術愛好者の育成も目的の一つとして開催します。

中垣克久先生プロフィール: 美術造形作家。東京藝術大学大学院彫刻科修了。イタリア国立ブレラ美術アカデミー公費留学。東京藝術大学・東京学芸大学・文化女子大学で教授。第1回ロダン大賞展受賞、長野野外彫刻賞特別賞受賞等、全国の彫刻展で数多く受賞。多数の企画展巡回展を行い、各地に彫刻モニュメントを建立。2006年飛騨市中垣克久彫刻庭園美術館開館。2014年ドイツ・ベルリン市のギャラリー(Gallery Murata & Friends)で「時代の肖像」を展示。2019年、あいちトリエンナーレ2019出品。現在、現代造形表現作家フォーラム代表・飛騨市美術館名誉館長・市立中垣克久彫刻庭園美術館名誉館長。